

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)尾張旭市三郷商業施設新築	階数	地上2F
建設地	愛知県尾張旭市北原山土地区画整	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,500 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店,飲食店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日	2017年1月10日
敷地面積	10,165 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 名古屋支社
建築面積	5,372 m ²	確認日	2017年1月10日
延床面積	9,135 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 名古屋支社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

3.0 1.5 BEE=1.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	78%
③上記+②以外の	78%
④上記+	78%

0 46 92 138 184 230 276 322 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 1
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.6**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.8</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.2</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用
Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4)地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} + \text{附属物面積}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

モリゴ ちゅー

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質									
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音		2.6	0.15					2.6	
1.2 遮音		3.0	0.40					2.9	
1 開口部遮音性能		3.0	0.99						
2 界壁遮音性能		3.0	0.01						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音		1.0	0.20						
2 温熱環境									
2.1 室温制御		2.6	0.35					2.6	
1 室温		3.0	0.50						
2 外皮性能		3.0	0.50						
3 ゾーン別制御性		3.0	0.17						
2.2 湿度制御		1.0	0.20						
2.3 空調方式		3.0	0.30						
3 光・視環境									
3.1 昼光利用		3.0	0.25					3.0	
1 昼光率		3.0	0.51						
2 方位別開口									
3 昼光利用設備		3.0	1.00						
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御		3.0	0.49						
4 空気質環境									
4.1 発生源対策		3.5	0.25					3.5	
1 化学汚染物質		4.0	0.50	内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用					
4.2 換気		3.0	1.00						
1 換気量		3.0	0.30						
2 自然換気性能		3.0	0.50						
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50						
4.3 運用管理		3.0	0.20						
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50						
2 喫煙の制御		3.0	0.50						
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ		2.8	0.40					2.8	
1 広さ・収納性		3.0	0.40						
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画	独自	3.0	1.00						
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30						
1 広さ感・景観		4.0	0.34	売場の天井高:3.5m					
2 リフレッシュスペース		2.0	0.32						
3 内装計画		1.0	0.34						
1.3 維持管理		3.0	0.30						
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50						
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震		2.8	0.31					2.8	
1 耐震性		3.0	0.48						
2 免震・制振性能		3.0	0.80						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.20						
1 躯体材料の耐用年数		2.8	0.33						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②	3.0	0.23						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.23						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		4.0	0.09	床:タイル貼り、壁:ビニルクロス、天井:化粧ボード					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.08						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.15						
2.4 信頼性		3.0	0.23						
1 空調・換気設備		2.6	0.19						
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20						
3 電気設備		2.0	0.20						
4 機械・配管支持方法	②	3.0	0.20						
5 通信・情報設備		2.0	0.20						
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり		3.6	0.29					3.6	
1 階高のゆとり		5.0	0.31	階高:4.95m以上					
2 空間の形状・自由さ		5.0	0.60	壁長さ比率 飲食店:0.101 物販店0.094					
3.2 荷重のゆとり		5.0	0.40						
3.3 設備の更新性		3.0	0.31						
1 空調配管の更新性		3.0	0.38						
2 給排水管の更新性	②	3.0	0.17						
3 電気配線の更新性		3.0	0.17						
4 通信配線の更新性		3.0	0.11						
5 設備機器の更新性		3.0	0.11						
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.22						

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出	独自③			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.825		4.7	0.30		-	4.7
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20		-	3.0
3 設備システムの高効率化				4.6	0.30		-	4.6
集合住宅以外の評価(3a.3b)		LED照明設備の設置		4.6	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)					-		-	
4 効率的運用				3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50		-	
集合住宅の評価					-		-	
4.1 モニタリング					-		-	
4.2 運用管理体制					-		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護				3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水		自動水栓、泡沫水栓、節水型トイレの使用		4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.63		-	3.4
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	② 独自	磁器質タイル		3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	LGS+PB、パーテーション		5.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68		-	
1 消火剤				-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50		-	
3 冷媒				3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮				3.8	0.33		-	3.8
1 ライフサイクルCO2概算値:78%	①			3.4	0.33		-	3.4
2 地域環境への配慮				5.0	0.25		-	
2.1 大気汚染防止		ガス燃焼機器を使用しない		3.0	0.50		-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.7	0.25		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減	独自			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制	独自			3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1 騒音	独自			3.0	1.00		-	
2 振動	独自			-	-		-	
3 悪臭				-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40		-	
1 風害の抑制				3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制					-		-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				1.6	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のつら外に漏れる光への対策				1.0	0.70		-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-	

重点項目スコアシート

(仮称)尾張旭市三郷商業施設新築工事

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策			3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10
② 資源の有効活用			3.2
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.09
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.09
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19
③ 敷地内の緑化			1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09
			外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			1.0
			(評価ポイント)
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-
			なし
			なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)尾張旭市三郷商業

計画上の配慮事項	
総合	照明や衛生など器具や使用建材は環境への配慮、長寿命化されたものを採用した。また建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化に努めて、省エネルギー性能を高める計画とした。
Q1 室内環境	内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用
Q2 サービス性能	内装仕上材は耐用年数の長いものを使用
Q3 室外環境(敷地内)	テラスを設置
LR1 エネルギー	BPI=0.825、BEI=0.77
LR2 資源・マテリアル	節水型器具の採用
LR3 敷地外環境	LCCO2排出率=79%
その他	特になし